

## 袋井関連人物参考資料目録(3)

～名倉孝(遠州鬼秀)、近藤健次関連資料目録～

The Bibliography of Persons related to Fukuroi city ; vol.3

小栗 勝也\*

Katsuya OGURI

## 1. はじめに

名倉孝氏(昭和9年2月生、現在78歳)は「現代の名工」に認定された鬼板師(鬼師とも呼ばれる。鬼瓦職人のこと)である。袋井市に工房を構えている。

静岡県地域はかつて駿府城築城の際に、著名な瓦の産地である三河地域の職人が移住したことから瓦産業が盛んになったと言われる。袋井地域を流れる太田川流域でも良質の粘土がとれたため「遠州瓦」「遠州鬼瓦」と呼ばれる瓦が作られてきた。遠州鬼瓦の製造所は、戦後の最盛期には10軒以上あったそうだが、今では「鬼秀」の屋号を持つ工房のみとなった<sup>(1)</sup>。遠州地域の名を冠して「遠州鬼秀」と称することもある。この鬼秀が名倉孝氏の工房である。

氏は父である3代目鬼秀・名倉秀三(ひでぞう)のもとで鬼板師としての修行を積み、4代目鬼秀として袋井の地で工房を護り続けている。「鬼秀」の「秀」は秀三の名から取ったものである。秀三が3代目であるというのは、瓦に関係する仕事をするようになった名倉家として3代目ということであって、「2代目鬼秀」という呼び名は存在しない。

2代目名倉紋太郎は「鬼紋」と称した<sup>(2)</sup>。初代名倉勇八は鬼瓦を専門に扱った訳ではないので「鬼」の文字を用いて名乗ることはなかった。2代目3代目の例にならって、4代目の孝氏も自らの名を取って「鬼孝」と称しても不思議ではないのだが、「鬼孝(おにたか)」では音が良くないので父の屋号をそのまま継承したと、ご本人は述べる<sup>(3)</sup>。

遠州鬼秀の鬼瓦は、技法としては社寺建築における伝統的木工彫刻の流派で江戸後期に栄えた立川流の流れを汲む。鬼瓦製法における立川流は、2代目鬼紋らの努力で栄えたと言われる<sup>(4)</sup>。4代目も「立川流」を看板に掲げている。

地元袋井近辺の田圃の床土を用いて作られる遠州鬼秀の鬼瓦は、独特のいぶし銀の光沢と、なめらかな風合いで知られてきた。但し、現在では主に三河の土を用いているという。地元の土を用いて作っていると今でも紹介されることがあるが、

この書き方は現在では間違いになるそうである<sup>(5)</sup>。

父秀三氏も幾多の賞に輝いた名工であったが、名倉孝氏も立派な業績を上げている。平成13年に厚生労働大臣より卓越技能章の表彰を受け「現代の名工」に認定されたほか、平成18年には「静岡県技能マイスター(しずおかの匠)」に認定された。更に平成14年には黄綬褒章も受賞している。

長い伝統の裏付けと確かな技術によって、このように高い評価を得ているのが鬼秀の鬼瓦である。そのため地元袋井市民の中には「街の誇り」<sup>(6)</sup>であると評する人もいる。

名倉孝氏は単に伝統的な鬼瓦を製造することだけにとどまらず、鬼瓦の鬼を笑顔にするというユニークなアイデアを実行に移す斬新さも兼ね備えている。名倉氏が独自に開発した「平成の笑鬼(しょうき)」がそれである。その第1作目は袋井の北に位置する森町の「アクティ森・体験の里」の当時の所長の依頼によって作られることになったもので、完成後は森町の駐在所の屋根に置かれた<sup>(7)</sup>。名倉氏はこの笑う鬼を鬼瓦としてだけでなく鬼面付の表札にも用い、今では氏の工房に注文が入る表札の半分は笑う鬼だそうである<sup>(8)</sup>。

また、鬼瓦製造の技法を用いて各種のモニュメント等の作品も手がけている。例えば平成16年開催の浜名湖花博では、名倉氏が作成したオブジェと華道家の假屋崎省吾氏による蘭の活け花がコラボレーションして展示作品になったこともある。現在、袋井市役所の正面玄関脇に設置されている波をイメージしたモニュメントが、その時の名倉氏の作品である。

加えて、地元の子ども達にも遠州鬼瓦の伝統を広く伝えたいとの思いから、平成元年から袋



名倉 孝氏

2012年3月2日受理

\* 総合情報学部人間情報デザイン学科

井市内の小学校中学校等で粘土細工の体験学習等の指導も行っており、これは今も続いている。

氏は業界でも広く知られた人物で、平成 3 年に全国の鬼師が結集して発足した「日本鬼師の会」では創立時からこれに参画し、平成 8 年から平成23年まで同会の副会長職を務めた。現在は名誉顧問である。また、現在は無くなってしまったとのことであるが<sup>(9)</sup>、「遠州鬼瓦研究会」(森町の「アクティ森」に事務局を置いていた)の顧問も務めていた。

このように現在も第一線で活躍中の「現代の名工」が名倉孝氏である。筆者とは、平成 17 年に新しい町づくりを考える民間団体「新袋井フォーラム」が設立された際に、氏もこれに参加して下さったことから知り合いとなり、以来懇意にさせて頂いている。現在の鬼秀の工房では、名倉孝氏の御令孫にあたる名倉元久氏が「5代目鬼秀」として祖父と2人で仕事に当たっておられる。鬼秀のホームページを管理運営しているのも5代目だそうである<sup>(10)</sup>。

近藤健次氏(大正 15 年1月生、現在 86 歳)は袋井市(旧幸浦村大野、後の浅羽町大野)の出身で、臨床検査業界で日本トップクラスの会社、(株)ビー・エム・エルを創業した方である。袋井市には氏の名を冠した近藤記念館(平成 22 年完成)が作られている<sup>(11)</sup>。近藤氏については既に本誌上で筆者が紹介したものがあるので<sup>(12)</sup>、ここでは割愛する。

今回の目録では以上2名に関する資料を収録した。

なお本目録は、これまでと同様に筆者が個人的に集めてきた情報を備忘録程度に記していたものを土台に、改めて調査した情報を加えて一覧にしたものであるが決して完璧な目録とは言えない。従って本目録には遺漏や誤認等が残されている可能性がある。ご利用頂く方には予め御寛恕の程をお願い申し上げる次第である。同時に、本目録に未掲載の資料等をご存知の方、或いは本目録記載情報のミス等にお気づきの方は、是非とも筆者にお知らせ頂ければ幸いである。

名倉氏関連の資料については、氏の御協力を得て御自宅に保存されている資料をお借りし調査させて頂いた。感謝の意を表する次第である。なお同氏宅には表彰状の写しや表彰手続き上で作られた各種



笑う鬼瓦

の下書き文書、また写真や私的文書なども多数保存されているが、本目録では公開資料や公文書資料を優先し、これらは割愛した。また、本誌掲載紙数の制限から今回、名倉氏関連の資料を全て収録できなかったのも、残りは次号の掲載に回すことをお断りしておきたい。

- (1) 以上、(Web)「ふじのくに・ささえるチカラ」([http://sasaeruchikara.jp/?post\\_type=parsons&p=681](http://sasaeruchikara.jp/?post_type=parsons&p=681))内の記事より。
- (2) 『静岡県職人』(本目録No.6)参照。
- (3)(5)(9)(10) 以上、2012年3月名倉孝氏談(聴き手小栗)。
- (4) 「第1回全国立川流鬼瓦展開催にあたって」(本目録No.13)参照。
- (6) 例えば「じえらーと・げんき〜地域紹介」(本目録No.2)等。
- (7) 名倉孝「平成の笑鬼」(本目録No.18)。
- (8) 注(1)、及び2012年3月名倉孝氏談(聴き手小栗)。
- (11) 袋井市にある個人名が付いた公的施設は、澤野医院記念館と近藤記念館の2つのみである。袋井市の公共施設は市のHP内サイト(<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kbn/02200030/02200030.html>)に一覧がある。
- (12) 拙稿「袋井出身の起業家・近藤健次氏について」(本目録No.46)。

#### 【凡例】

- ・資料は原則として発行の古い順に並べてある。Noは本目録の便宜上の連番。
- ・『』は刊行物全体の題名を、「」はその中の記事題名やパンフレット等の簡易資料名を、何もないものは、その他の資料であることを示す。【】は小栗の注記を示す。資料名の前に【】が付いている場合は紙媒体以外の資料を示す。また備考欄他に【】を付さないで多くの注記をしている。
- ・所蔵場所は小栗が確認した所のみ記した。他に所蔵する所もあるので、実物を見たい場合は先ず各自で最寄りの図書館等を探すことをお勧めします。

## 2. 名倉孝関連資料 (その1) (なぐら たかし 1934年～ 「現代の名工」認定の鬼板師、4代目遠州鬼秀)

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考	所蔵場所等
1	【Web】「遠州鬼秀」	「鬼秀」(名倉氏自身によるHP。5代目鬼秀が管理運営)	<a href="http://www2.bweb-arena.com/onihide/">http://www2.bweb-arena.com/onihide/</a>	鬼秀	(不明)	当該HPトップから「製品案内」「施工実績」「郷土工芸品」「モニュメント」「プロフィール」「ご案内」「mail」「リンク」の情報に進める。	WEB 公開情報
2	【Web】「じえらーと・げんき〜地域紹介」	じえらーと・げんき	<a href="http://www.genki-jp.com/area.html">http://www.genki-jp.com/area.html</a>	「じえらーと・げんき」( <a href="http://www.genki-jp.com/index.html">http://www.genki-jp.com/index.html</a> )のトップから「地域紹介」を。	(不明)	「鬼秀」を「街の誇り」の一つとして紹介している。同店は袋井市にある禅寺・可睡斎の門前にあるジェラート店。	WEB 公開情報
3	【Web】「遠州鬼瓦」(しずおかの郷土工芸品/工芸品紹介)	静岡県郷土工芸品振興会	<a href="http://www.shizuoka-kougei.jp/011.html">http://www.shizuoka-kougei.jp/011.html</a>	「しずおかの郷土工芸品」( <a href="http://www.shizuoka-kougei.jp/">http://www.shizuoka-kougei.jp/</a> )トップから「遠州鬼瓦」を選択。	(不明)	トップページの「静岡県伝統工芸品らいぶらりい」で検索すると、遠州鬼瓦の商品 8 品の詳細案内、価格、発売元情報も分かる。	WEB 公開情報

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等
4	「丹精込めた手作りの鬼瓦を提供／父に追いつけ追い越せの気概持ち」	鬼板師 名倉孝 鬼秀	『エコノミックジャーナル』第14巻第19号	日本経済通信社	昭和52年10月5日	43頁。若き日の名倉孝氏の写真あり。	名倉孝氏蔵
5	「名人登場／鬼板師／鬼がわらづくり／周智郡森町 名倉秀三さん」	イラスト・文 松林トミ夫	『母と生活』第21巻第9号(静岡県出版文化会「母と生活」編集部編)	静岡教育出版社	昭和53年9月1日	82～87頁。息子さんが四代目鬼秀を継いで名倉さんも一安心、という記述もある。	名倉孝氏蔵
6	『静岡県の職人衆』	杉山 正	—	静岡新聞社	昭和59年6月12日	145～152頁に「鬼板師／名倉秀三さん」あり。口絵にも名倉秀三氏の写真あり。森町の名倉秀三と紹介されている。	袋井図書館蔵
7	「よみがえれ”ふるさと”の心技”伝統工芸作家シリーズ②／東海職人列伝／三代目”鬼秀”／堂宮鬼板師 名倉秀三さん(周智郡森町)」	(記載なし)	『素敵な街角』1985年9・10月合併号通巻11号	(株)コンセプトバンク(浜松市)	昭和60年10月1日	10頁。四代目鬼秀作の家紋手彫瓦の誌上頒布記事もあり。	名倉孝氏蔵
8	「袋井市パンフレット」【本目録掲載の名倉氏関連のパンフ等が収録されている】【下の脚注を参照のこと】	袋井市教育委員会・編集	—	—	(1987年) 【但し図書館に登録されている年】	市販 A4 サイズのクワイヤーファイル1冊に各種パンフ等が収録されている。ファイル背表紙に「袋井市パンフレット」と記載あり	袋井図書館(郷土資料・請求記号 S234フ、資料番号 110414489)
9	「現代のたくみ／遠州鬼瓦」	(記載なし)	『コンセンサス』1991年5月号	NEC 日本電気(株)情報処理営業支援本部内コンセンサス編集部	1991年5月	10～11頁	名倉孝氏蔵
10	「遠州森町鬼工房だより」	名倉 孝	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)創刊号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成3年7月10日	『鬼瓦・瓦屋根再考』452頁	名倉孝氏蔵／小栗蔵
11	「遠州森町 体験の里だより」	(記載なし)	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第3号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成4年10月15日	『鬼瓦・瓦屋根再考』458頁。名倉氏の工房とそれがあるアクティ森の紹介記事。	名倉孝氏蔵／小栗蔵
12	「伝統工芸品／鬼(手作り)瓦」／鬼秀三代目名倉秀三／四代目名倉孝【リーフレット。鬼秀自身による製品紹介カタログ】	鬼秀	—	鬼秀	(裏表紙に当たる部分に「主な作品」リストがあり、そこに平成5年現在とあることから、その頃に作られたものと推断する)	横長の1枚の用紙両面に印刷されたものを四つ折にしたもの。3代目の父の写真と共に若き日の名倉氏の写真もある。	本目録資料 No.8 及び No.68 内に収録されている
13	「第一回全国立川流鬼瓦展開催にあたって」	富岡 昭	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第4号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成5年4月20日	『鬼瓦・瓦屋根再考』464頁。名倉氏の父・3代目鬼秀・名倉秀三氏の名が紹介されている。	名倉孝氏蔵／小栗蔵
14	『Shizuoka S・A・I・K・O Design Exhibition (静岡”さい・こ”デザイン展)／(ユーザーズプロポータル報告書)』	ユーザーズプロポータル委員会	—	(静岡県デザインセンター)【資料中には記載はないが本資料と共に保存されていた文書に同センター長名で報告書完成報告と謝辞があることから、実施主体はここであると推定】	(平成5年6月)【左記文書が6月25日付けであることから推定。なお、このデザイン展は平成4年10月に行われている】	名倉氏の鬼瓦を氷見義治氏(15～16頁)と安藤兼郷氏(21～22頁)が推薦している。また、展示会での「人気投票」の結果、鬼瓦が総得票数第1位を獲得している(5頁)。	名倉孝氏蔵

【注】資料No.8に関連して次のことを注記しておきたい。袋井図書館で「鬼秀」を検索するとNo.8と同一名で、似た請求記号の資料が今一つヒットする。「請求記号 S234 ハ、資料番号 110451796」と示されるその資料の詳細情報には「S234 フ」と同じデータが記入されている。しかし、この「S234 ハ」の「袋井市パンフレット」は、石黒館長以下職員に探してもらったが(2012年3月)、同館では見つからなかった。

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等
15	「第1回立川流／鬼瓦展／写真集(抜粋)」【パンフレット】	第1回立川流鬼瓦展実行委員会	—	第1回立川流鬼瓦展実行委員会	平成5年7月発行【展示会は同年4月28日～5月23日まで埼玉伝統工芸会館にて実施】	B5版全14頁のパンフ。名倉家2代目～3代目及び鎌田勢治氏の作品写真の掲載あり。鎌田氏は名倉孝氏の御令室の実弟で、4代目鬼秀の工房で働いていた方。	名倉孝氏蔵
16	「袋井ゆかりの芸術家による／美術展」【パンフレット】	袋井市教育委員会社会教育課学習文化推進係	—	(主催・袋井市、袋井市教育委員会)	(開催:平成5年11月2日～7日/場所:袋井市総合センター)	出品作家紹介として「工芸」の中に名倉孝氏の写真と出展「作品名」が1頁分で記載。	本目録資料No.8内に収録されている／名倉孝氏蔵
17	「『技』がさえる／鬼瓦(おにがわら)」	記載なし	『東海道上夢乃歳(まんざい)』創刊号(建設省浜松工事事務所広報誌)	建設省中部地方建設局浜松工事事務所監修、中部建設協会発行	平成6年1月【当該資料自体に発行時期の記載はないが、本目録資料No.48の中にある「掲載資料」(ここには「…夢乃歳」と誤記されている)に平成6年1月と記されていることから推断した。】	2頁。B3用紙1枚両面印刷物を2つ折にし、B4サイズ全4頁の形にした大型発行物。袋井の特集号。	名倉孝氏蔵
18	「平成の笑鬼」	遠州鬼秀 名倉孝	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第6号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成6年7月1日	『鬼瓦・瓦屋根再考』471頁	名倉孝氏蔵／小栗蔵
19	『大江山シンボル創造事業／平成の大鬼・青海波唐轆風』	日本鬼師の会編集	—	日本鬼師の会発行	1994年11月	2頁の協力参加者一覧に名倉孝氏の名があるが、収録の制作記録・報告には名倉氏の名は出てこない。	名倉孝氏蔵
20	「伝統工芸品／遠州鬼瓦／鬼秀一四代目●名倉孝」【リーフレット、鬼秀自身による工房紹介カタログ】	鬼秀	—	鬼秀	(静岡県郷土工芸品指定と記載されており、鬼秀が同指定を受けた平成7年以降のものと思われる)	A4版1枚用紙の両面印刷物を三つ折にしたもの。	本目録資料No.69内に収録されている
21	「静岡の美／美術展」【小型パンフ、袋井市教育委員会主催の同展示会用パンフレット】	(主催・袋井市教育委員会)	—	(主催・袋井市教育委員会)	(開催:平成7年9月30日～10月8日/場所:袋井市総合センター)	12頁に、「鬼瓦」として名倉氏出展の4作品名と、氏の略歴・主な作品がある寺社名リストが記載されている。	本目録資料No.68内に収録されている
22	「役員体制」	(記載なし)	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第8号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成8年5月1日	『鬼瓦・瓦屋根再考』477頁。副会長の1人として名倉孝氏の名が記載されている	名倉孝氏蔵(原紙も蔵)／小栗蔵
23	「大きな獅子で神楽舞う 春野・勝坂神楽の里」	(記載なし)	『朝日新聞』(静岡県版)	朝日新聞社	1996年6月2日朝刊	名倉氏が製作した巨大な神楽獅子2体が完成したのを記念した催しの記事。	朝日新聞データベース「聞蔵」より
24	「魅鬼倶楽部『技術の伝承』【平成7年10月に愛知県高浜市で行われた日本鬼師の会第5回全国研修会の記録】	日本鬼師の会	—	日本鬼師の会	1996年10月発行	出展作品紹介部分に名倉孝氏の「鯨」(73頁)と鎌田勢治氏の「鯨」(71頁)が写真入りで紹介されている。	名倉孝氏蔵
25	『世界鬼学会会報 第2号』	世界鬼学会	—	世界鬼学会【京都府の日本の鬼交流博物館内に同学会事務局がある】	1996年12月7日	62頁の会員名簿の箇所に「鬼秀(名倉孝)【袋井市】」あり。	名倉孝氏蔵
26	「<企画展>鬼板師一駿河職人尽シリーズ」【パンフレット、名倉孝氏の個展】	(主催:財団法人清水港湾博物館=フェルケール博物館)	—	(主催:財団法人清水港湾博物館=フェルケール博物館)	(開催:平成9年1月25日～2月23日/場所:フェルケール博物館)	A4版全14頁+表裏表紙の本格パンフ。3～5頁に出展作品が写真入りで紹介。「瓦の歴史」が年表形式で7～14頁に掲載。	本目録資料No.69内に収録されている／名倉孝氏蔵

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等
27	「<企画展>鬼板師一駿河職人尺シリーズ」【チラシ、同上個展のチラシ。入館料1割引券を兼ねている】	同上	—	同上	同上	B5版1枚刷のチラシ。上記パンフ表紙と同じ写真を用いているが、パンフがモノクロ印刷であるのに対して、こちらは赤単色刷。	本目録資料No.69内に収録されている
28	「企画展『鬼板師』を終えて」	遠州 名倉 孝	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第9号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成9年5月28日	『鬼瓦・瓦屋根再考』484頁	名倉孝氏蔵／小栗蔵
29	「全国鬼師の飾り瓦カタログ【カタログ】、及び、添付の「飾り瓦価格表」【カタログには作者名の記載がないが価格表にはそれがあり、これによりカタログ記載の④手作り鬼面灰皿、⑤ミニ鬼面ペン立て、⑥手作りカッパ、⑦尺本格鬼面又木、⑧ネクタイピン、が名倉孝氏の作品であることが判明する】	日本鬼師の会事務局	—	日本鬼師の会事務局	カタログ内容は「平成9年10月現在のもの」と記載あり	カタログはA4サイズで紹介写真誌面5頁分、価格表はA4サイズ1枚。	名倉孝氏蔵(カタログ及び価格表等が1つの封筒に保存)
30	【Web】「静岡再発見/WNN-C 発/匠/第8回/鬼板師 名倉孝さん/福は内。鬼も内。」	WNN-C Shizuoka【copyrightのクレジット表記】	http://www.shizuoka.ntt.co.jp/wnn-c/saihaken/nagura/index.html【但し現在は存在しないサイト】	NTT	(copyrightのクレジット表記に「1998」と記載されていることから、その頃のものとの推測)	名倉氏宅にプリントアウト(A4版で10枚分)が保存されており、それで内容を確認できた。	名倉孝氏プリントアウト蔵
31	「世界に一枚/(スクールレポート)」	(文末に(ワ)と記載あるのみ)	『ふぁみりす』第5巻第10号(静岡県出版文化会編)	静岡教育出版社	平成10年2月1日	60～61頁。袋井北小学校で表札作りの指導をする名倉孝氏の紹介グラビア。	名倉孝氏蔵
32	「静岡/9寸鬼面一文字/名倉孝」【平成9年10月に島根県江津市で開催された日本鬼師の会第7回全国研修大会で、開催地・石州の粘土で作成した鬼瓦を展示する「記念創作展」が催された】	(出典作品写真)	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第10号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成10年2月10日	『鬼瓦・瓦屋根再考』487頁。名倉氏の出展作品の写真。鎌田勢治氏の出展作品も紹介されている。	名倉孝氏蔵／小栗蔵
33	「『鬼師の活動』紹介欄」	遠州 四代目 鬼秀 名倉 孝	同上	同上	同上	同上誌488頁。地元の小学校で名倉氏が鬼瓦作りを指導していることを紹介。	同上
34	「(グラビア)創る/日本の風景の根底を製造する/鬼師…名倉孝」	月尾嘉男(東京大学教授)	『交流』No.47	中部電力(株)	1998年5月25日	18～21頁	名倉孝氏蔵
35	「袋井市制施行40周年記念式典/平成10年11月3日/袋井市」【パンフレット】	袋井市	—	袋井市	平成10年11月3日 式典実施	A4版10頁のパンフ。7頁の「感謝状贈呈者」「産業功労」の部の1人として名倉孝氏の紹介あり。	名倉孝氏蔵
36	「新世紀教育計画推進シリーズ8/平成10年度教育ルネッサンス21『触れる木』/伝統工芸体験教室」	義務教育課	『教育広報』No.459	静岡県教育委員会発行、生涯学習課編集	平成10年11月13日	4頁。遠州鬼瓦の体験教室に参加した子供の感想文1つと指導する名倉氏の写真が掲載。	名倉孝氏蔵
37	「市制施行40周年表彰・感謝状の贈呈」	(記載なし)	『広報ふくろい』No.816	袋井市	1998年12月1日	13頁。感謝状贈呈者・産業功労の中に名倉孝氏の名あり。	名倉孝氏蔵
38	「平成10年度/教育ルネッサンス21『体験の森』/触れる木/伝統工芸体験教室」	教育ルネッサンス21「体験の森」実行委員会事務局(静岡県教育委員会義務教育課内)編集	—	同事務局発行	平成11年2月	70～76頁に名倉氏の下で鬼瓦作りの体験をした小中学生16人分の感想文が掲載。写真も多数あり。	名倉孝氏蔵
39	「鬼瓦教室」	静岡 名倉 孝	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第12号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成11年3月15日	『鬼瓦・瓦屋根再考』495頁。平成10年12月に地元の小学生と障害児60名余を対象に名倉氏が鬼瓦教室を行ったことの紹介記事。	名倉孝氏蔵／小栗蔵

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等	
40	「青少年ふれあい交流事業」	(記載なし)	『社協ふくろい』第93号	袋井市社会福祉協議会編集・発行	平成11年3月15日	5頁。ハンディをもった子ども達の交流企画に名倉氏が協力したこと紹介記事。	名倉孝氏蔵	
41	「⑩『菊水鬼瓦』／静岡県袋井市／遠州鬼秀／名倉孝」【平成11年に江戸東京博物館で開催された展示会記念限定出版物における「鬼秀」展作品の写真紹介】	(右の書は日本鬼師の会+山田脩二の企画・編集)	『鬼文化江戸東京物語展』(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	鬼伝説の町京都府大江町・発行	『鬼文化江戸東京物語展』1999年11月9日発行	『鬼瓦・瓦屋根再考』155頁。同頁に鎌田勢治氏の作品も紹介されている。	名倉孝氏蔵／小栗蔵	
42	「粘土こねこね鬼瓦作り／袋井北小 名倉孝さんが訪れ指導」	(記載なし)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞東海本社	1999年11月27日朝刊	【中日新聞袋井森下専売店提供のラミネート処理された切り抜き記事】	名倉孝氏蔵	
43	「日本の伝統技術にふれる／ギャラリー「遠州鬼瓦」茶某「笑鬼庵」」	(記載なし)	『心ゆたかに』第26号	㈱天峰	平成12年3月1日	1頁。名倉夫妻の写真あり。A3版1枚を2つ折にし、A4版全4頁の形にしたもの。	名倉孝氏蔵	
44	「遠州の技／鬼瓦工房を訪ねて／福を呼ぶ鬼瓦」	(記載なし)	『遠州森の茶通信』No.1	石川園	平成12年4月	【当該資料自体に発行時期の記載はないが、本目録資料No.48の中にある「掲載資料」に記載されている情報から断定】	2頁	名倉孝氏蔵
45	「ブラブラウオッチング／拝見！名人のお仕事／名倉孝さん 66歳(袋井市)／遠州鬼瓦」	(記載なし)	『ファミリス』第8巻第7号(静岡県出版文化会編集)	静岡教育出版社	平成12年11月1日	30～31頁	名倉孝氏蔵	
46	「Photo Document 生きる⑩／遠州・鬼板師／名倉孝さん／静岡県袋井市在住」	写真・文 田邊順一	『晨』(あした)第19巻第12号通巻218号	編集・発行 ㈱ぎょうせい	2000年12月1日	巻頭グラビア3～7頁	名倉孝氏蔵／CiNii	
47	「技を極める／遠州鬼瓦／良いもの見て、眼力利かせなけりやあ／鬼秀四代目 鬼板師 名倉孝(静岡県袋井市堀越)」	撮影・二宮英兒	『沙羅双樹』(KSD広報誌)VOL. 343	KSD 中小企業経営者福祉事業団監修	2001年1月1日	58～59頁	名倉孝氏蔵	
48	「平成13年度／厚生労働大臣表彰(卓越技能者)／推薦資料／鬼瓦職種／静岡県袋井市堀越1丁目1番地の7／名倉孝」【綴込表紙・綴り紐で綴じられた手製の資料・非公刊物】	(記載なし。この中に「推薦書」もあるが執筆者の記載はない)	—	—	(記載なく詳細不明だが、平成13年に同表彰を受ける直前に作られたものと推定される)	A4版用紙で履歴書、調書、推薦書、資料等が多数綴られている	名倉孝氏蔵	
49	「鬼瓦ひと筋に生きる／一オリジナル「平成の笑鬼」が屋根の美を作る～鬼板師・名倉孝さん～」	村松鈴恵	『さんらいふ』(読者をつくる朝日新聞の系列タウン紙)No.199(西部版)	静岡県朝日会発行	2001年5月20日号	1頁。タブロイド版の資料。	名倉孝氏蔵	
50	「静産大に大鬼瓦／150人出席除幕式」	(記載なし)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞東海本社	2001年6月4日朝刊	3代目鬼秀が約50年前に制作し名倉孝氏も手伝った大鬼瓦が、静岡産業大学に寄贈されたことを紹介する記事。名倉氏と大坪字長の写真あり。	名倉孝氏蔵【中日新聞袋井森下専売店提供のラミネート処理された切り抜き記事】	
51	「十年を振り返る」	静岡県 名倉孝	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第14号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成13年7月9日	『鬼瓦・瓦屋根再考』502頁	名倉孝氏蔵／小栗蔵	
52	「鬼秀ギャラリー・笑鬼庵(しずおかトラベラーズ紀行／[寄り道スポット])」	(記載なし)	『自由自感』(静岡県しんきん年金友の会会報誌)第15号【小型冊子】	静岡県しんきん年金友の会事務局企画・発行	2001年9月1日	13頁に紹介記事、14頁に地図案内が掲載。「笑鬼庵」は名倉氏の御台室ひろ子さんの(茶道家・華道家)の茶室のこと。	名倉孝氏蔵	
53	「遠州鬼瓦(和ざ紀行)」	(記載なし)	『いきいき中部』通巻第172号	中部建設協会編集発行	平成13年9月15日	4～7頁。巻頭に置かれた特集グラビアで紹介。	名倉孝氏蔵	
54	【TV番組】「ときの探訪／遠州鬼瓦／静岡県袋井市(JR東海道線・袋井駅)」	CBC(中部日本放送)テレビ(JR東海・提供)	—	CBC(中部日本放送)テレビ(JR東海・提供)	2001年9月18日午後7時54分～8時放送	—	名倉孝氏VHS蔵、WEB「http://hicbc.com/tv/tanbou/」にも紹介あり。	

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等
55	「●特集●平成13年度「卓越した技能者」	(記載なし)	『職業能力開発ジャーナル』第43巻第11号通巻第515号	厚生労働省職業能力開発局総務課編集、労務行政研究所発行	平成13年11月1日	13頁に名倉孝氏の写真入り紹介あり。この受賞のとき名倉氏の肩書きは全て「れんが・かわら類成形工」となっている。	名倉孝氏蔵
56	『平成13年度卓越技能者の横顔／名工との出会い』	中央職業能力開発協会・編	—	中央職業能力開発協会・発行	平成13年11月	75頁に名倉氏の紹介あり	名倉孝氏蔵
57	「鬼板師の名倉さん(袋井)ら／『現代の名工』／全国149人 県内から5人／「名倉さん『父に追い付いた』」	(記載なし)	『静岡新聞』	静岡新聞社	平成13年11月22日朝刊	【名倉氏蔵の記事コピーには年の記載がないが、受賞した平成13年と判断した】	名倉孝氏コピー蔵
58	「匠の技 後世へ／『現代の名工』149人決まる／鬼板師／名倉孝さん(67)／「仕事の鬼」が編みだした笑鬼」	(記載なし)	『産経新聞』(静岡県版)	産経新聞社	平成13年11月22日朝刊	同上	同上
59	『『現代の名工』149人選出／県内からは5人／厚生労働省／『笑う鬼がわら』生んだ仕事の鬼／袋井の名倉さん』	(記載なし)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞東海本社	平成13年11月22日朝刊	同上	同上
60	「鬼板師の名倉さん／袋井市長に受賞報告／本年度の『現代の名工』」	(記載なし)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞東海本社	2001年11月27日朝刊	原田市長に報告する名倉夫妻の写真あり。【中日新聞袋井森下専売店提供のラミネート処理された切り抜き記事】	名倉孝氏蔵
61	「鬼秀四代目名倉孝／『卓越技能章厚生労働大臣表彰』受賞記念祝賀会／平成十三年十二月九日／於 葛城北の丸【当日配布の席次表・非公刊資料】」	—	—	—	(平成13年12月9日実施)	黄色の三つ折のリーフレット。本資料収蔵の白色の大型封筒には本人の挨拶文他、当日の関連資料数点も同封あり。	名倉孝氏蔵
62	「現代の名工に2氏」	(記載なし)	『日本屋根経済新聞』第998号	日本屋根経済新聞社	2001年12月18日	業界から名倉孝氏他の2氏が選ばれたことを紹介する記事	名倉孝氏コピー蔵
63	【Web】「人と技の元気ステージ／遠州鬼瓦職人／名倉孝」	(静岡県西部行政センターによる情報の転載)	http://www.ast.gr.jp/ret/stage/takasi-nagura.html	「静岡県西部地域技能者技術紹介・人と技の元気ステージ」(http://www.ast.gr.jp/ret/stage/genki_index.html)のサイト入りロページから当該ページへ	(静岡県西部県行政センターが2002年に発行した「人と技の元気ステージ」に掲載された情報を紹介する旨の記述があり、2002年時点の情報と推断)	当該サイトはNPO法人アクション・シニア・タンク事務局が管理運営	WEB公開情報
64	「東海道五十三次／どまん中／袋井宿／観光ガイドブック【リーフレット】」	(記載なし)【但し問合せ先として袋井市役所商工課と袋井市観光協会の名が記載】	—	—	記載なし【但しFIFA-W杯がエコパで開催予定との記事があることから開催の2002年より前のものであることは確実】	遠州鬼瓦の紹介あり。三つ折にしてA4大となるリーフレット。	名倉孝氏蔵
65	「(グラフィア) 技を支える—(103)／呵呵大笑、平成の笑鬼の獨創性／遠州瓦の鬼板師『四代目鬼秀』名倉孝さん(67歳)【但し103の数字は現物では○で囲まれた数字】」	撮影・福田栄夫、取材・吉田孝一	『エルダー』(高齢者雇用のための月刊誌)第24巻第4号通巻270号	高齢者雇用開発協会	平成14年4月1日	1～4頁(巻頭グラフィア)	名倉孝氏蔵／CiNii／国会図書館雑誌記事索引
66	「名倉孝氏(日本鬼師の会副会長)／卓越技能章厚生労働大臣表彰を受賞」	事務局	『魅鬼倶楽部』(日本鬼師の会会報)第15号(No.67の『鬼瓦・瓦屋根再考』に収録)	日本鬼師の会	平成14年5月25日	『鬼瓦・瓦屋根再考』506頁／平成13年の受賞報告記事	名倉孝氏蔵(原紙も蔵)／小栗蔵
67	『鬼瓦・瓦屋根再考』	日本鬼師の会・企画編集	—	日本鬼師の会	2005年11月12日	A4版520頁	名倉孝氏蔵／小栗蔵
68	「袋井市関係資料(ファイル)」【本目録掲載の名倉氏関連のパンフ等が収録されている】	袋井市立図書館編【但し図書館に登録されている情報】	—	—	(2005年)【但し図書館に登録されている年】	市販のA4版クワイアファイル1冊に各種パンフ等が収録されている。	袋井図書館(郷土資料・請求記号S234フ)
69	「袋井市パンフレット②」【本目録掲載の名倉氏関連のパンフ等が収録されている】	袋井市教育委員会編【但し図書館に登録されている情報】	—	—	(2006年)【但し図書館に登録されている年】	市販のA4版クワイアファイル1冊に各種パンフ等が収録されている。	袋井図書館(郷土資料・請求記号S234フ2、資料番号112149778)

(名倉氏資料は次号に続く)

## 3. 近藤健次関連資料 (こんどう けんじ 1926年～ ㈱ビー・エム・エル創業者)

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考	所蔵場所等
1	『七転八起 ～BMLとともに四十年』	近藤健次	—	㈱ビー・エム・エル	平成 5 年 3 月 25 日	全 223 頁。近藤氏の自伝	浅羽図書館
2	「事業拡大のカギは“創意と工夫” / 株式会社ビー・エム・エル会長 近藤健次氏」(トップインタビュー)	近藤健次	あさひ銀総合研究所・編『ユニーク企業の経営哲学(第1巻)』	栄光出版社	平成 5 年 9 月 15 日	15～21 頁に近藤氏のインタビュー記事	浅羽図書館
3	『BML創立40周年記念誌』	創立40周年記念誌編纂委員会・編	—	㈱ビー・エム・エル	1995 年 7 月 1 日	㈱ビー・エム・エルより提供	小栗蔵
4	「起・業・人 / 臨床検査で最先端を走り業界を装置産業にした男 / ビー・エム・エル」	湯谷昇羊	『週刊ダイヤモンド』	ダイヤモンド社	1995 年 7 月 1 日号	34～35 頁	小栗コピー蔵
5	「春の叙勲 受賞した人たち / 東京」	(記載なし)	『朝日新聞』	朝日新聞社	1997 年 4 月 29 日朝刊	「勲五等瑞宝章」受章者に近藤氏の名あり	朝日新聞データベース「聞蔵」より
6	「「ひと」「いのち」を見つめる医療情報システム企業へ / トップインタビュー / 株式会社ビー・エム・エル代表取締役会長 近藤健次氏」	近藤健次、聞き手・小林栄一郎	『あさひ銀総研レポート』第 10 巻第 6 号	あさひ銀総合研究所	2001 年 6 月	25～28 頁	小栗コピー蔵
7	「すごいぞ! 『電子カルテ』」 【㈱ビー・エム・エルの全面広告】	㈱ビー・エム・エル	『朝日新聞』	朝日新聞社	2001 年 11 月 28 日朝刊	全面広告	㈱ビー・エム・エル / 小栗コピー蔵
8	「健康世紀へ、医療が変わる。」 【㈱ビー・エム・エルの全面広告】	㈱ビー・エム・エル	『日本経済新聞』	日本経済新聞社	2002 年 5 月 27 日朝刊	全面広告	㈱ビー・エム・エル / 小栗コピー蔵
9	「グランドデザインが医療を変える!」 【㈱ビー・エム・エルの全面広告】	㈱ビー・エム・エル	『朝日新聞』	朝日新聞社	2002 年 7 月 17 日朝刊	全面広告	㈱ビー・エム・エル / 小栗コピー蔵
10	『会社案内』【パンフレット】	㈱ビー・エム・エル	—	㈱ビー・エム・エル	2004 年 11 月	㈱ビー・エム・エルより提供	小栗蔵
11	「善意をありがとうございます」	(記載なし)	『広報あさば』	浅羽町	2005 年 2 月号	21 頁	小栗コピー蔵
12	「図書館の本を充実させて / 近藤健次氏から1千万円の寄附」	(記載なし)	『あさば議会だより』第 68 号	浅羽町議会	平成 17 年 2 月 4 日	3 頁	小栗コピー蔵
13	「図書館への本寄贈に大感謝」	織田美樹(主婦 29 浅羽)	『中日新聞』	中日新聞社	平成 17 年 3 月 13 日朝刊	読者投稿欄	小栗コピー蔵
14	「浅羽誕生 50 周年記念式典(閉町式)表彰者(3 月 19 日)」	(記載なし)	『広報ふくろい』	袋井市	平成 17 年 4 月 1 日号	13 頁。「善行功労表彰」に近藤健次氏の記載あり。	袋井図書館蔵 / 小栗蔵
15	『BML創立50周年記念誌』	創立50周年記念誌編纂委員会・編	—	㈱ビー・エム・エル	2005 年 7 月 5 日	㈱ビー・エム・エルより提供	袋井図書館 / 浅羽図書館 / 小栗蔵
16	【Web】「有価証券報告書」(株式会社ビー・エム・エル)	株式会社ビー・エム・エル	EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)上での公開資料	—	2006 年 6 月 30 日提出	全 87 頁。なお現在の EDINET( <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp/">http://info.edinet-fsa.go.jp/</a> )からは、左記資料より後の最新版のものしか閲覧できない。	WEB 公開資料
17	「株主のみなさまへ 第 52 期報告書」	㈱ビー・エム・エル	—	㈱ビー・エム・エル	(2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日分の報告)	表紙裏表紙を含め全 12 頁分のパンフレット	㈱ビー・エム・エル / 小栗蔵
18	【Web】「株式会社ビー・エム・エル様」【NEC製のビジネスPC・システムの導入事例として紹介された記事】	NEC	<a href="http://www.nec.co.jp/products/bizpc/promotion/jir-ei/bml/index.shtml">http://www.nec.co.jp/products/bizpc/promotion/jir-ei/bml/index.shtml</a> 【現在このページは不在】	NEC	(2007 年 6 月) 【掲載ページに記載の年月】	—	WEB 公開資料 【不在となる前に確認済】
19	「近藤健次様 / 歓迎・感謝の集い」【非公刊印刷物】	(記載なし) 【但し裏表紙に袋井市の市章があり、市の作成によるものと推定される】	—	—	(集いの日時「平成 19 年 7 月 12 日(木)午後 5 時 00 分」の記載が表紙にあり)	袋井市大野の「三富士」を会場に行われた集いで参加者に配布された印刷物。A3 用紙 1 枚を 2 つ折りにしたものに近藤氏の略歴や新聞記事が印刷され、これに A3 用紙 1 枚に席次表が印刷されたもので構成。市長・議長・市議ほか参加。	近藤氏の友人である小杉信雄さんが所蔵 / 小栗コピー蔵

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考	所蔵場所等
20	「公園整備に3億円寄付／袋井出身近藤さん／故郷へ強い思い入れ」	(記載なし)	『中日新聞』	中日新聞社	2007年7月13日朝刊	—	小栗コピー蔵
21	「3億円、故郷へ思い大きく／企業顧問の近藤さん、袋井市に寄付／市『公園整備に活用』」	(記載なし)	『静岡新聞』	静岡新聞社	2007年7月13日	第29面(全県共通紙面)	小栗コピー蔵
22	「故郷・袋井市に3億円を寄付／東証1部上場企業創業者」	(記載なし)	『朝日新聞』(静岡県版)	朝日新聞社	2007年7月14日朝刊	—	朝日新聞データベース「聞蔵」より
23	「対談／郷土を語る」	近藤健次、原田英之・袋井市長	『広報ふくろい』	袋井市	2007年8月1日	2～3頁	袋井図書館／小栗蔵
24	「株主のみなさまへ 第53期中間報告書」	㈱ビー・エム・エル	—	㈱ビー・エム・エル	(2007年4月1日～2007年9月31日分の報告)	表紙裏表紙を含め全12頁分のパンフレット	㈱ビー・エム・エル／小栗蔵
25	「平成19年(2007年)市政重大ニュース」	(記載なし)	『広報ふくろい』	袋井市	平成19年12月15日号	3頁。近藤氏からの3億円寄付の記事あり	袋井図書館／小栗蔵
26	「袋井市に3億円寄付／近藤さんに市政功労賞／原田市長らが贈る」	(記載なし)	『中日新聞』(静岡県、中・東遠版)	中日新聞社	平成20年7月25日朝刊	第16面	小栗コピー蔵
27	「袋井への寄付に感謝／昨夏3億円 近藤さんに市功労表彰贈る」	(記載なし)	『静岡新聞』(西部・掛川版)	静岡新聞社	2008年7月26日朝刊	第20面(中東遠ワイド紙面)	小栗研究室内データベース保存
28	「市政功労賞を贈呈しました」	(記載なし)	『広報ふくろい』	袋井市	平成20年8月15日号	12頁。近藤氏表彰の記事	袋井図書館／小栗蔵
29	「株主のみなさまへ 第54期中間報告書」	㈱ビー・エム・エル	—	㈱ビー・エム・エル	(2008年4月1日～2008年9月30日分の報告)	表紙裏表紙を含め全12頁分のパンフレット	㈱ビー・エム・エル／小栗蔵
30	「平成20年(2008年)市政重大ニュース」	(記載なし)	『広報ふくろい』	袋井市	平成20年12月15日号	2頁。近藤氏に市政功労賞贈呈の記事	袋井図書館／小栗蔵
31	『会社案内』【パンフレット】	㈱ビー・エム・エル	—	㈱ビー・エム・エル	2009年6月	㈱ビー・エム・エルより提供	浅羽図書館／小栗蔵
32	【Web】「浅羽支所周辺のまちづくりに向けて」	浅羽支所地域建設課	<a href="http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kbn/Files/1/24200100/attach/asabasi_syosyuhennoma_tidukurini_1.pdf">http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kbn/Files/1/24200100/attach/asabasi_syosyuhennoma_tidukurini_1.pdf</a>	袋井市HP( <a href="http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kbn/24200100/24200100.html">http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kbn/24200100/24200100.html</a> )から入手可	平成21年6月	PDFでA4版全6枚分。「(仮称)近藤記念館」を含む周辺地区の整備構想を記した市のダイジェスト版資料。	WEB公開資料
33	【Web】「浅羽支所周辺地区/エントランス広場基本構想(案)」	袋井市	<a href="http://www.mel-lowplaza.com/ayumi/017_2009_11.pdf">http://www.mel-lowplaza.com/ayumi/017_2009_11.pdf</a>	袋井市	平成21年8月	A4版全10頁(PDFファイルは表紙目次を入れて12枚)。「(仮称)近藤記念館」を含む周辺地区の整備構想を記した市の資料。	WEB公開資料
34	「近藤健次さんを御存知ですか」	(記載なし)	『なんきんはげ』(袋井市立浅羽図書館通信)	袋井市立浅羽図書館	平成21年9月号	1頁	小栗蔵
35	「浅羽に記念館構想／近藤さん寄付3億円 袋井市が活用」	(記載なし)	『静岡新聞』(西部・掛川版)		2009年10月2日朝刊	第20面(中東遠ワイド紙面)	小栗研究室原紙保存
36	【Web】「袋井市・近藤記念館の設計をエスパッド」	(記載なし)	<a href="http://www.kentsu.co.jp/shizuoka/news/p02537.html">http://www.kentsu.co.jp/shizuoka/news/p02537.html</a>	建通新聞社のサイト「建設業界ニュース静岡版」に掲載	2009年12月7日	—	WEB公開資料
37	「展示・イベント情報」【「近藤健次氏と近藤文庫紹介展」の案内あり】	袋井市教育委員会	『ふれあい』(生涯学習情報紙)No.59	袋井教育委員会	平成22年2月15日号	2頁	小栗蔵
38	「3月の行事予定カレンダー」【「近藤健次氏と近藤文庫紹介展」の案内あり】	(記載なし)	『お知らせふくろい』	袋井市	平成22年2月15日号	6頁	小栗蔵
39	「3月の展示／近藤健次氏と近藤文庫」	(記載なし)	『なんきんはげ』(袋井市立浅羽図書館通信)	袋井市立浅羽図書館	平成22年3月号	1頁	小栗蔵
40	「近藤健次氏と近藤文庫紹介展」【パンフレット】	小栗勝也(資料協力:㈱ビー・エム・エル、ほか)	—	新袋井フォーラム(発行協力:袋井市立浅羽図書館)	平成22年3月3日	全8頁	本目録資料No.47、48内に収録／小栗蔵
41	「市政功労章受賞の起業家の功績紹介／袋井市の浅羽図書館」	(記載なし)	『中日新聞』(中・東遠版)	中日新聞社	2010年3月21日朝刊	第19面	小栗コピー蔵

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考	所蔵場所等
42	「近藤健次氏と近藤文庫紹介展」	(記載なし)	『新袋井フォーラム会報』第19号	新袋井フォーラム	平成22年4月1日	1~2頁	国会図書館 / 浅羽図書館 / 小栗蔵
43	「小学校時代の思い出」	小杉信雄	同上	同上	同上	2~3頁。近藤氏と小学校の同級生であった小杉氏の回想記	同上
44	「近藤健次氏から小杉信雄氏への手紙より」	近藤健次	同上	同上	同上	3頁	同上
45	【TV番組】「ドラ町つく/浅名(袋井市)」	ケーブル・ウィンディ(浜松に本社のあるケーブルテレビ)	同TV局のチャンネル「チャンネル・ウィンディ」にて放送	ケーブル・ウィンディ	2010年4月26日~5月2日まで1日4回放送。15分間。	浅羽図書館で行われていた「近藤健次氏と近藤文庫紹介展」が紹介されている。	小栗個人録画DVD蔵
46	「袋井出身の起業家・近藤健次氏について~日本トップクラスの臨床検査会社BMLと近藤文庫~」	小栗勝也	『静岡理科大学紀要』第18巻	静岡理科大学	2010年6月1日	107~116頁	静岡理科大学附属図書館 / 袋井図書館 / 浅羽図書館
47	「近藤健次氏関連資料(ファイル)【本目録掲載の近藤氏関連パンフ等が収録されている】」	—	—	袋井市立袋井図書館【但し図書館に登録されている情報】	(2010年10月)【但し図書館に登録されている年月】	市販のA4版の青色のクリアファイル1冊。	袋井図書2F受付(郷土資料、請求記号S289コ)
48	「近藤健次氏関連資料(ファイル)【本目録掲載の近藤氏関連パンフ等が収録されている】」	—	—	袋井市立浅羽図書館【但し図書館に登録されている情報】	(2010年10月)【但し図書館に登録されている年月】	市販のA4版の緑色のクリアファイル1冊。	浅羽図書館(郷土資料、請求記号K289.1コ)
49	「近藤記念館/11月10日OPEN【チラシ】」	(記載ないが、袋井市によるものと推測)	—	(記載ないが、袋井市によるものと推測)	(OPEN=平成22年11月10日)	A4版1枚のチラシ。裏面に市の「第1回郷土の発展に尽くした人々パネル展」と「袋井の文化財展」の予告記事あり。	本目録資料No.48内に収められている
50	「袋井市立浅羽郷土資料館/近藤記念館【近藤記念館の紹介リーフレット】」	袋井市教育委員会	—	袋井市教育委員会	平成22年11月10日	A4版用紙1枚を三つ折りにしたリーフレット	近藤記念館/本目録資料No.47、48内にも収録/小栗蔵
51	「第1回郷土の発展に尽くした人々パネル展—近藤記念館開館記念企画展・資料—【パンフレット】」	袋井市教育委員会編	—	袋井市立浅羽郷土資料館発行	平成22年11月10日	全11頁。近藤記念館で行われた展示会のパンフ。浅羽佐喜太郎ほか計10名の紹介記事あり。但し近藤氏の紹介記事はない。	近藤記念館/小栗蔵
52	「近藤記念館オープン!!」	(記載なし)	『ふれあい』(生涯学習情報紙)No.63	袋井教育委員会	平成22年11月15日号	2~3頁。近藤記念館、近藤文庫、近藤氏の紹介あり。	本目録資料No.48内に収録/小栗蔵
53	「善意でできた学習施設/袋井にオープン 憩いの場に」	(記載なし)	『産経新聞』(静岡県版)	産経新聞社	平成22年11月23日朝刊	近藤記念館開館記念式典の記事	小栗蔵
54	「文献紹介~鳥居信平・鳥居鉄也・近藤健次~」	(記載なし)	『新袋井フォーラム会報』第22号	新袋井フォーラム	平成23年1月1日	5~6頁。本目録資料No.46の紹介記事。	国会図書館 / 浅羽図書館 / 小栗蔵
55	「郷土の再発見と歴史を学ぶ楽しさが生まれます。/袋井市郷土資料館・近藤記念館/浅羽記念公園/袋井市歴史文化館【これらの施設の紹介リーフレット】」	袋井市教育委員会	—	袋井市教育委員会	(浅羽記念公園・歴史文化館がオープンした2011年11月頃に作成と推定)	A3版1枚用紙を4つ折りにしたリーフレット	近藤記念館/小栗蔵
56	【DVD】「バイオ&医療情報システム企業 ビー・エム・エル」 【会社紹介のDVD。浅羽図書館収蔵の「CD」(DVDが正しい)で「BML 会社案内」の名で登録されているものがこれに当る。請求記号K289.1コ、資料番号13002005。なぜか本目録資料No.48内に入っていた。】	(株)ビー・エム・エル	—	(株)ビー・エム・エル	—	①全編13分25秒、②全編(PCL除く)12分54秒、③総研・品質・関連事業編11分38秒、④総研・関連事業編10分21秒の4部で構成。【2010年2月に同社より提供を受けた資料】	(株)ビー・エム・エル/浅羽図書館/小栗蔵
57	【Web】株ビー・エム・エルのホームページ	—	<a href="http://www.bml.co.jp/index.j.html">http://www.bml.co.jp/index.j.html</a>	—	—	近藤健次氏が創業した会社のHP	WEB公開資料
58	【Web】有馬・近藤記念医学財団のホームページ	—	<a href="http://www.akmf.jp/">http://www.akmf.jp/</a>	—	—	近藤健次氏が現在理事長を務める、公衆衛生の向上に寄与することを目的とした財団法人のHP	WEB公開資料

以上

\* 本目録掲載の情報は2012年3月初めまでに確認できたデータに基づく